

平成 28 年度
「保育所等実態調査」
「保育士キャリアアップモデル」
報告書

平成 29 年 3 月

静岡県健康福祉部
こども未来局こども未来課

はじめに

平成 28 年 4 月 1 日現在の県全体の保育所等待機児童数は前年度の 780 人から 331 人減少し、449 人となったものの、依然として多くの待機児童が発生している。

県では、待機児童ゼロを目指して、市町との連携により、受入枠の拡大を進め、本年度も保育所や認定こども園の整備などにより、約 3,300 人分の定員増を図り、受入枠拡大に伴い必要となる保育人材の確保にも努めている。

こうした中、国においては、平成 28 年 6 月 2 日に「ニッポン一億総活躍プラン」を閣議決定し、「保育士としての技能・経験を積んだ職員について、現在 4 万円程度ある全産業の女性労働者との賃金差がなくなるよう、追加的な処遇改善を行う」ことが盛り込まれ、国の平成 29 年度予算案に、処遇改善のための予算が計上された。

県では、国の動きに呼応し、現場で保育に携わる方々の処遇を改善する取組みについて検討した結果、研修の受講や保育士としての経験年数に加え、各個人の技能・経験について評価を行うキャリアアップの仕組みづくりが必要であると考え、国に先行して、キャリアアップの仕組みを導入する保育所等に活用いただけるよう、「ふじのくに型保育士キャリアアップモデル」を作成することとした。

また、キャリアアップモデルは、県内の保育所等における保育士の処遇やキャリアアップの実態を反映したものとするため、これまで把握していなかった保育所等の実態調査も併せて行うこととした。

なお、実態調査とキャリアアップモデル作成は、保育関係団体、学識経験者等からなる「保育士キャリアアップモデル検討会議」を開催し、御意見をいただきながら進めた。

保育所及び認定こども園など、多くの方々の御協力のもと、調査結果がまとまり、結果も踏まえたキャリアアップモデルを作成したので、ここに報告するものである。

なお、今後、国の動向や関係団体等の皆様の御意見を参考に、よりよいものに改善していくこととしている。

平成 29 年 3 月

静岡県健康福祉部こども未来局こども未来課

【目次】

I 保育所等実態調査	1
1 調査概要	3
2 調査結果の概要	5
3 調査結果（単純集計）	7
《施設用》	7
《施設長用》	39
《保育士用》	57
4 調査結果（クロス集計）	
《施設用》	93
《施設長用》	106
《保育士用》	110
5 保育所等実態調査結果から分析した経験年数別の保育士像	125
II 保育士キャリアアップモデル	139
キャリアアップモデル作成の考え方	141
「ふじのくに型保育士キャリアアップモデル」等について	143
ふじのくに型保育士キャリアアップモデル	144
ふじのくに型保育士キャリアアップ評価基準	146
ふじのくに型保育士キャリアアップモデルに係る研修体系	148
III 参考	151
1 保育士キャリアアップモデル検討会議	153
「保育士キャリアアップモデル検討会議」開催要領	153
保育士キャリアアップ会議構成員名簿	154
保育士キャリアアップモデル検討会議実施日	154
2 調査票	155
施設用調査票	155
施設長用調査票	167
保育士用調査票	177